



開物成務

運動会へ向けて

10月29日(木)の「創立145周年記念大運動会 IN KAISE IZAN」へ向け、体育の時間には、徒競走、団体種目の練習を行い、朝の時間には、6年生のダンス担当が、各教室へ行き、全校ダンスの振り付けを教えてくださいています。今、子どもたちは一生懸命、練習に取り組んでいます。6年生の声を紹介します。

「毎朝、2年生にダンスを教えに行っています。2年生も日々上手になっています。本番は明るい笑顔で元気に踊りたいです。」

「今年のスローガン『全力！笑顔！みんなにエール！！』を考えました。当日、このスローガンで運動会を盛り上げたいです。」

「応援団で応援のしかたを考えています。1年生でも分かりやすく盛り上がるようなものにしたいです。」

☆『業者による写真販売』『録画による動画配信』につきましては、保護者の皆様からご意見を頂戴し検討して参りましたが、今回は見送らせていただくことにいたしました。ご了解ください。

特設陸上部～市民体育祭に参加～

10月18日(日)に行われた市民体育祭に、陸上部の児童が参加(希望参加)しました。今回の種目は、100mのみとなりましたが、自己記録を目指し、懸命に開成山陸上競技場を走る姿が見られました。がんばったね！



授業研究会を実施しました

10月14日(水)に授業研究会を行いました。2年3組、伊東先生の国語の授業です。単元は「そうぞうしたことを、音読げきであらわそう『お手紙』」、登場人物は「がまくん」と「かえるくん」、手紙をお願いされる「かたつむりくん」です。保護者の皆さんにも懐かしいお話ではないでしょうか。

授業では、子どもたちが、先生のコーディネートのもと、積極的に発言し、「がまくん」「かえるくん」の気持ちについて読み深めていました。授業の終わりには「もっとやりたい」という声が聞かれ、子どもたちの意欲の高まりを感じました。授業後の研究会では、本年度もお願いしている小林伸行先生から、助言をいただき、研究を深めています。

本校は、今年も郡山市の研究推進協力校として「『主体的・対話的で深い学び』を実現する授業づくり」を研究主題に研究を進めていますが、子どもたちの共に学ぶ姿、先生方の授業づくりに取り組む姿がすばらしいと感じています。これからも子どもたちのために取り組んで参ります。11月6日（金）には、5回目の授業研究会が行われる予定です。



☆ONE FOR ALL, ALL FOR ONE☆

郡山市においては、新型コロナウイルスの第2波が続いており、対策の継続した取り組みが必要です。郡山市では、分析を通して「グループで活発に会話をしながらの食事によって感染が拡大しやすいと明らかになった」とし、「家の中、社交の場での対策を徹底してほしい。取り組みの積み重ねが大事で、一人一人が感染防止の担い手との意識をもってほしい」との呼びかけがあらためてなされています。また、全国的な傾向分析として、子どもの場合、家庭内感染が約8割を占めるとの報道もあります。

☆ONE FOR ALL, ALL FOR ONE☆（一人はみんなのために、みんなは一人のために）皆さんで気を付け、がんばっていきましょう。10月12日付けの文書を再度掲載いたします。

新型コロナウイルス感染防止対策についてお願い

日頃より本校教育活動及び新型コロナウイルス感染防止対策に、ご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、8月以降本県において感染経路が不明の陽性患者が増加傾向にあり、本市でも心配される状況が続いております。

つきましては、下記の点について改めてご確認いただき、ご対応くださいますようよろしくご願いたします。学校と家庭、皆さんでコロナウイルス感染防止に努め、コロナ禍を乗り越えていきましょう。

記

- 1 お子さんが発熱等の風邪の症状等、体調に異常を感じた場合は、無理をせず休ませてください。（欠席ではなく出席停止扱いとなります。）
また、ご家族に感染の心配がある時や、ご家族が通う職場や学校で感染があり濃厚接触者になる可能性がある時は、大事をとってお子さんを休ませるようにお願いいたします。（欠席ではなく出席停止扱いとなります。）
- 2 登校前の検温及び風邪の症状等の確認については、これまで通り継続していきますので、ご協力よろしくご願いたします。
- 3 ご家庭におきましても手洗い・手指消毒、マスクの着用、咳エチケット、こまめな換気など、「新しい生活様式」に基づいた感染症対策をこれまで通りご願いたします。
- 4 新型コロナウイルスには、誰もが感染する心配があります。感染した時に学校や地域で誹謗中傷がないよう、互いに注意していきたいと考えております。よろしくご願いたします。

『優しさは、心を結ぶ』

◎県では、新型コロナウイルス感染症に関する誹謗中傷防止啓発事業を繰り広げています。その合言葉は、『優しさは、心を結ぶ』です。県民同士がお互いを思いやり、新型コロナウイルスを乗り越えていくようメディア等を通じて呼びかけています。

◎校庭体育の「リレー」。「がんばれ」「いいぞ」「最後まで」と、子どもたちの声援、励ます声が聞こえてきます。子どもたちのすばらしさ、温かい心を感じます。皆さんで「思いやり」「優しさ」相手を思う心を大切にしていきたいと思います。